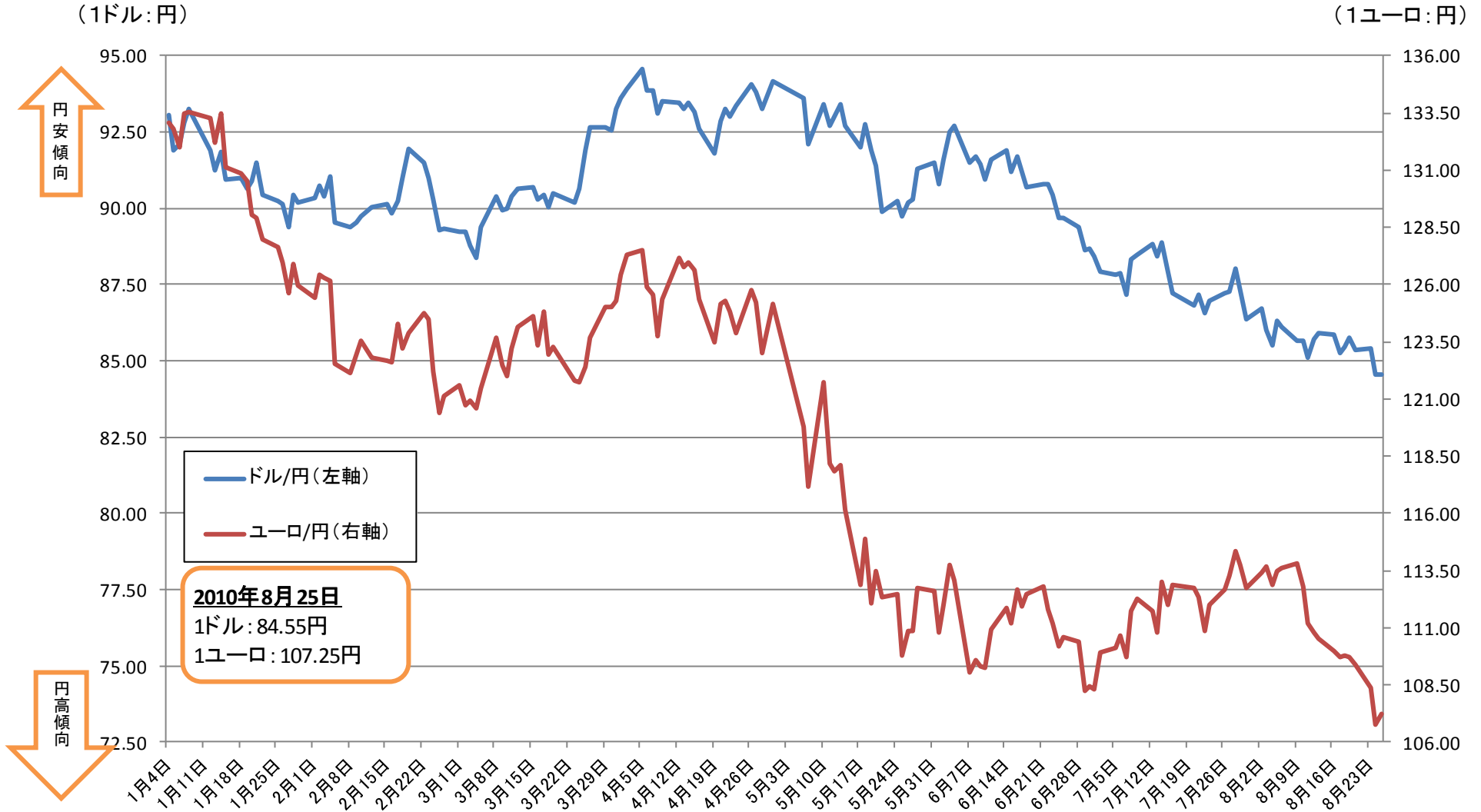


円高の影響に関する緊急ヒアリング結果 (参考資料)

2010年8月27日
経済産業省

最近の為替の動き

ドル円・ユーロ円の推移



リーマンショック(08年9月15日)以降、対ドルで最も円高が進んだのは10年8月25日の1ドル 83.60円、対ユーロでは10年8月25日の105.44円。
【出所】日経クイック 日本銀行 毎営業日のスポットレート(日本時間17時現在)、ブルームバーグ

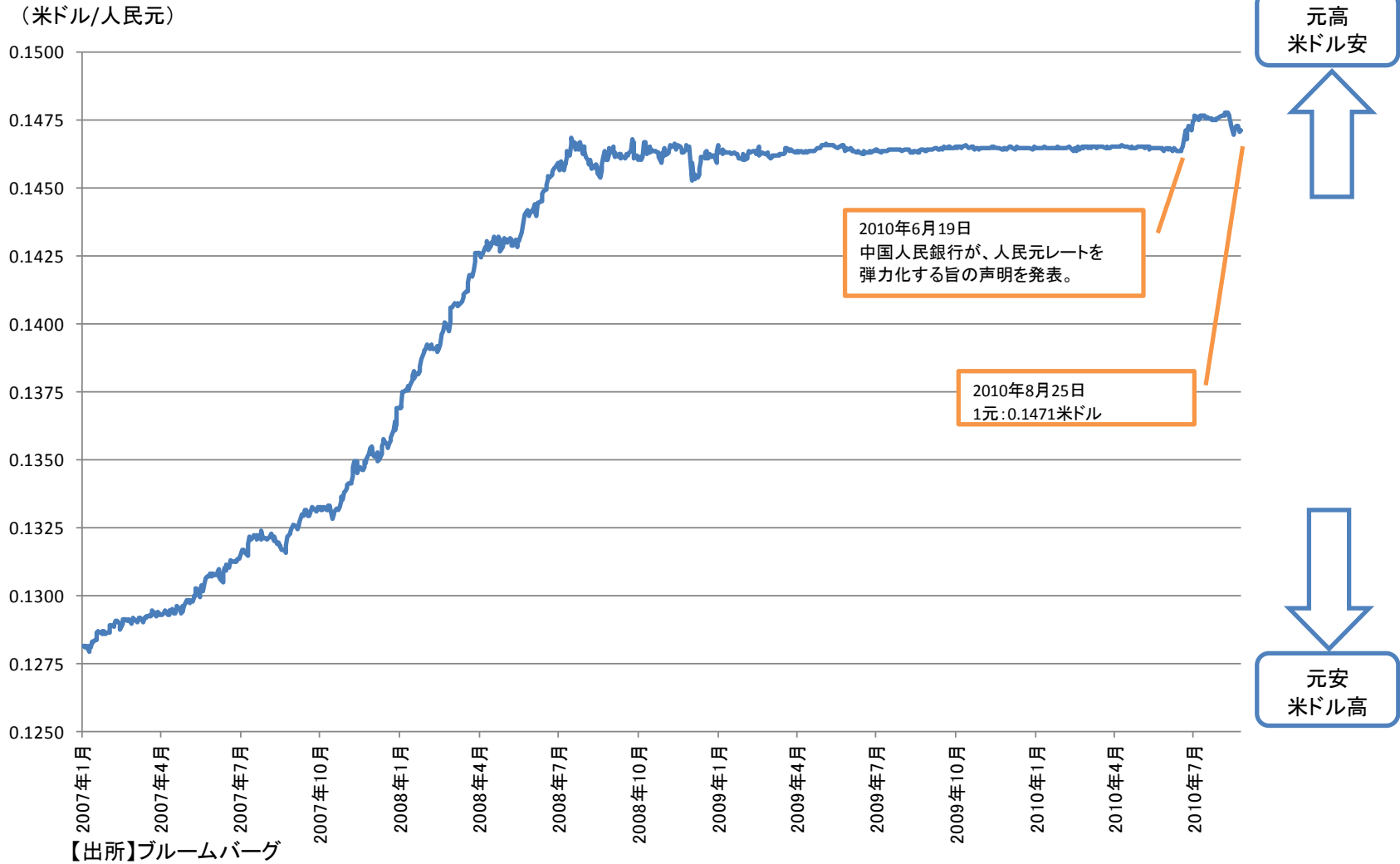
最近の為替の動き

韓国【円/100ウォン】



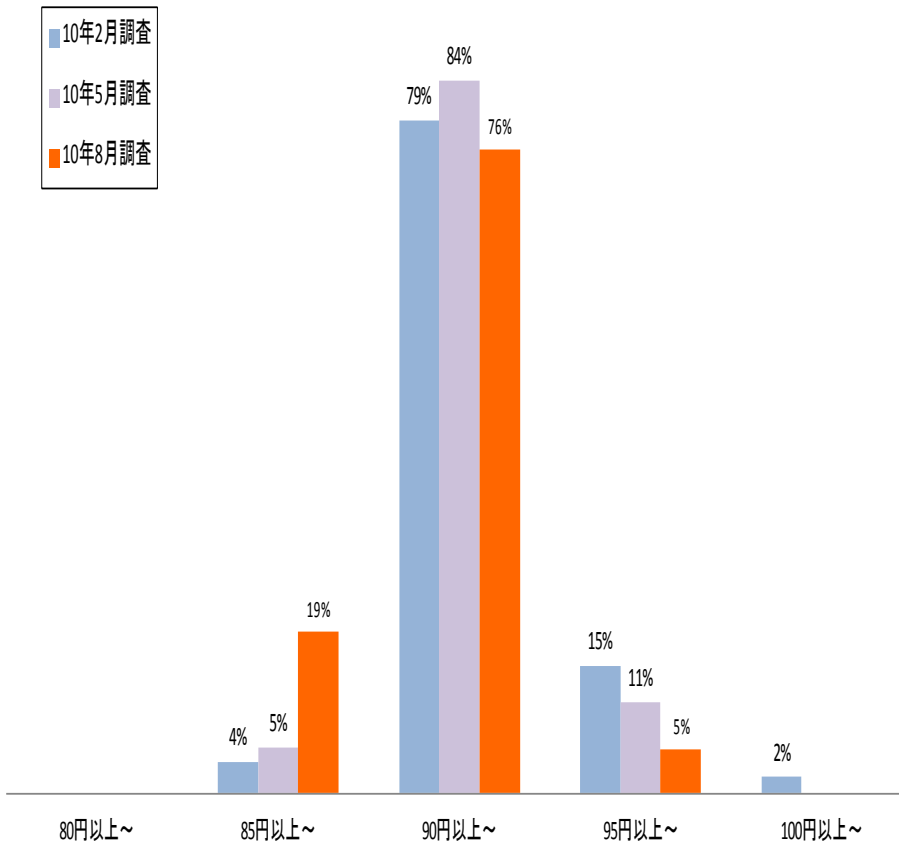
【出所】ブルームバーグ

中国【米ドル/人民元】



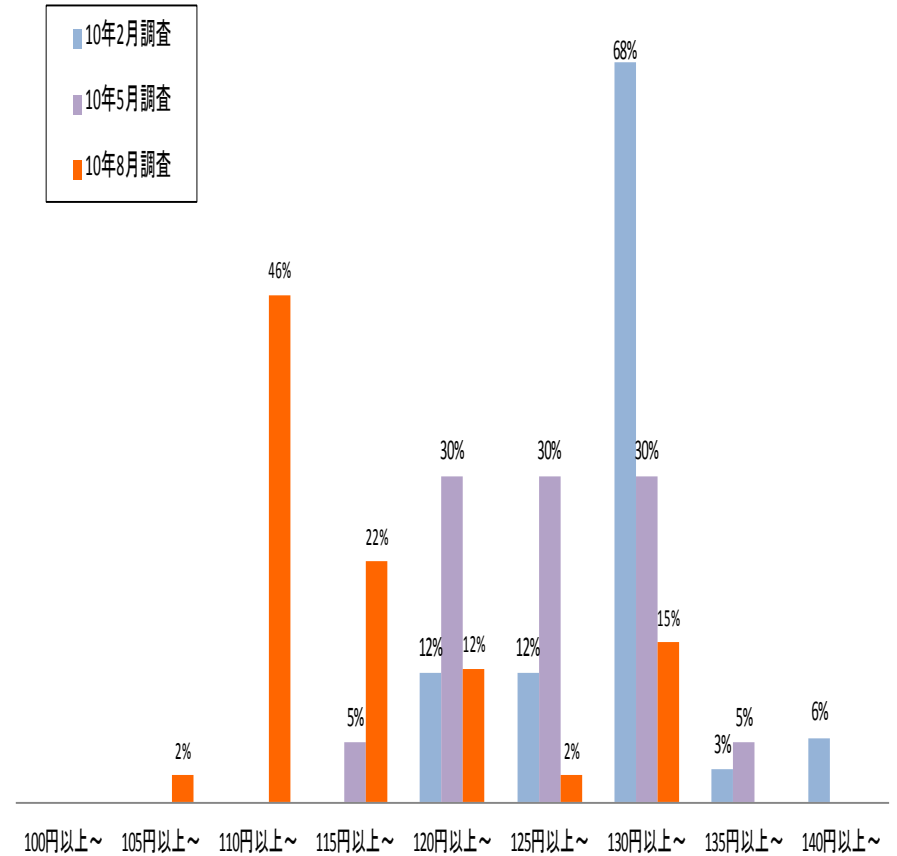
企業（製造業）の売上想定レート

対米ドル想定レート(通期:製造業)



※単純平均 10年2月調査92.0円、10年5月調査92.1円、10年8月調査89.8円
 【出所】経済産業省調べ（大企業を中心にヒアリング、回答数：10年2月調査53、10年5月調査56、10年8月調査58）

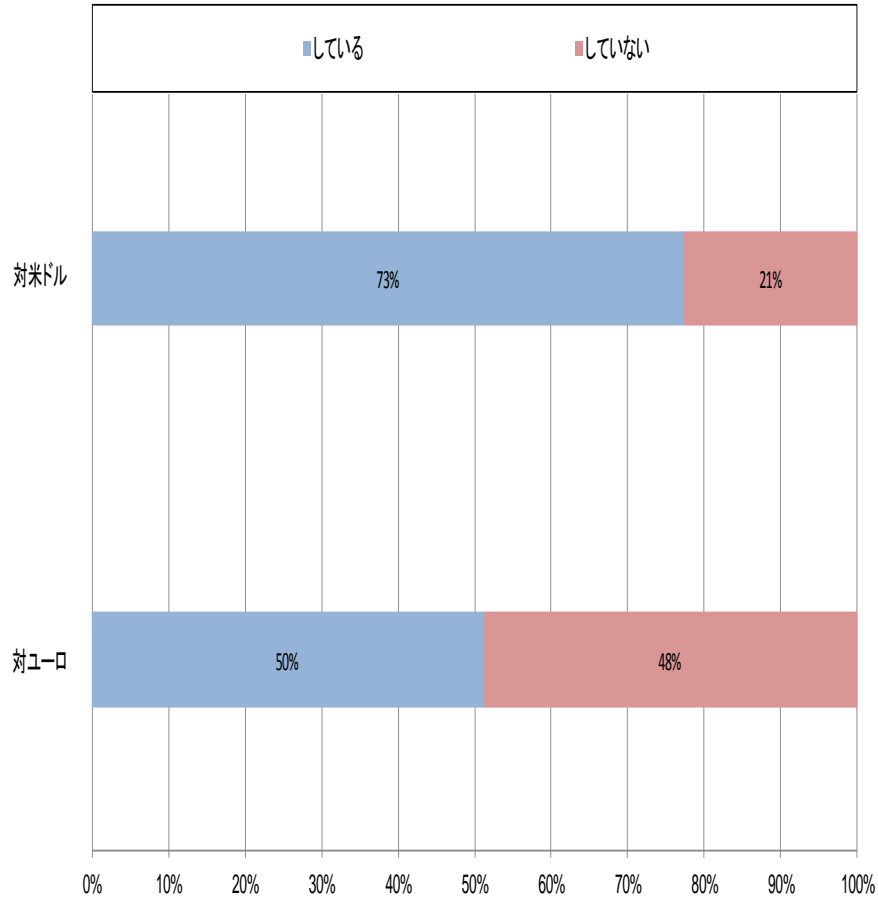
対ユーロ想定レート(通期:製造業)



※単純平均 10年2月調査130.4円、10年5月調査125.3円、10年8月調査115.9円
 【出所】経済産業省調べ（大企業を中心にヒアリング、回答数：10年2月調査34、10年5月調査37、10年8月調査41）

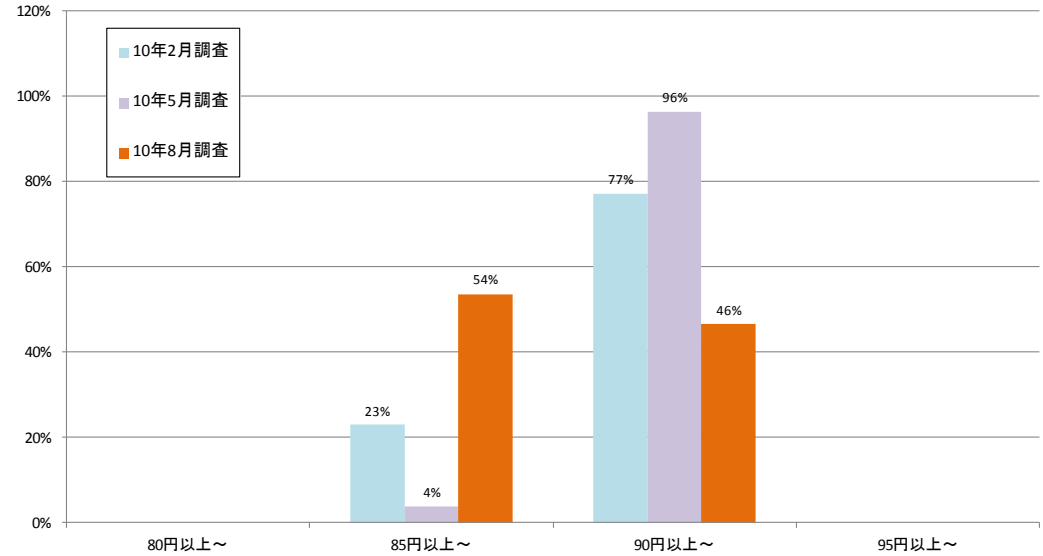
製造業の為替予約レート

為替予約の有無(製造業)



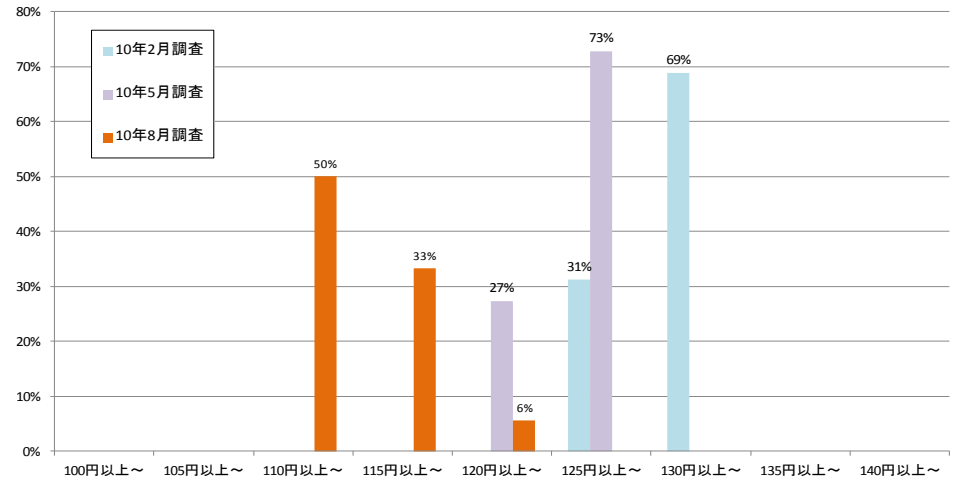
【出所】経済産業省調べ（大企業を中心にヒアリング、回答数：対ドル53、対ユーロ50）

対米ドル為替予約レート(製造業)



※単純平均 10年2月調査89.6円、10年5月調査91.1円、10年8月89.2円。
【出所】経済産業省調べ（大企業を中心にヒアリング、回答数：10年2月調査35、10年5月調査28、10年8月28）

対ユーロ為替予約レート(製造業)



※単純平均 月調査129.8円、5月調査125.0円、8月114.7円
【出所】経済産業省調べ（大企業を中心にヒアリング、回答数：2月調査16、5月調査17、8月18）

【参考】人民元が切り上げられた場合の影響について

(企業の声)

- 多少の増益。中国から日本国内への輸入紙の流入減による国内販売量の増加を期待。(紙・パルプ)
- 多少の減益。中国全体の輸出減に伴う中国経済の減速、現地子会社の販売減。(化学)
- 中国の成長スピードが減速することによる世界経済への影響や今後の中国での事業拡大についての影響を懸念。(リース)
- 中国からの仕入価格の上昇が懸念される。(繊維)
- 中国の購買力向上という側面もあり、これまでと異なったビジネス(モノ、カネ、サービス)の流れも発生してくる。(商社)

【参考】非製造業(小売業)の声

- 自動車産業等の輸出関連企業は大変な影響があるだろう。これによる消費意欲の減退を懸念。(A社)
- 最も不安視しているのは、輸出企業の業績悪化に伴う正規社員の給料の減少や非正規社員の削減により、間接的に消費の減少を誘引すること。(B社)
- 原材料や商品はほぼ国内からの仕入であるため、仕入サイドでの円高メリットはほとんどない。一方、円高が急速に進むと、輸出産業を中心に様々な産業にとってマイナスの影響が大きく、消費不況・デフレにつながる点を危惧している。(C社)